

会 報

理 事 会 報 告

(平成22年度第2回)

日 時 平成22年10月6日
 場 所 文京シビックセンター
 出 欠 理事(30名中19名)出席：渡辺理事長，鈴木(公)・森下・山岸常務理事，鎌田，武内，尾形，佐々木，藤田，長尾，中島(会長)，馬島，鈴木(栄)，小川，長谷川，鈴木(克)，倉澤，富岡，菅 計19名。西村監事，清水・石崎支部長。
 欠席により委任状：藤兼，巽，橋本，榎，網谷，一山，田中，重藤，相澤，河野，中西 計11名。阿彦監事。

報告事項

- I. 委員会報告
- II. 支部活動状況
- III. 第84回総会収支決算
- IV. 第86回総会準備状況
- V. その他

議 案

- 第1号議案 理事の選挙について
- 第2号議案 定年制に関わる評議員の補充について
- 第3号議案 委員の推薦について
- 第4号議案 その他

鈴木常務理事より会の成立が述べられ，渡辺理事長の司会により開始。平成22年5月青木正和名誉会員，9月木村郁郎功労会員の逝去が理事長より報告され，全員で黙禱。

報告事項

I. 委員会報告

1. 編集委員会(山岸委員長)

①今村賞の受賞者には，本学会総会において記念講演を要請している。結核誌への英文原稿の要請についても，学会賞申し合わせに加えさせていただく。②記念特集号の発行のワーキンググループとして，委員長推薦委員を承認願いたい。記念号の執筆は，主に理事長・会長経験者・名誉会員・功労会員に依頼する。

2. 学会賞選考委員会(中島会長)

本年度は今村賞2編の推薦があった。12月に学会賞選考委員会を開催，選考する。

3. 治療委員会(重藤委員長欠席のため，尾形社会保険委員長)

平成22年9月25日 於 アルカディア市ヶ谷
 治療委員会の呼びかけにより，合同委員会(治療委員会・抗酸菌検査法検討委員会・社会保険委員会)を開催した。厚生労働省と一般の結核治療担当医に向けて「薬剤耐性結核の医療に関する提言」を出すため，その草案をたたき台に検討を行った。今後メールのやりとりで提言をとりまとめて来年の結核病学会総会までに完成させる予定である。

4. 社会保険委員会(尾形委員長)

平成22年7月14日東海大学校友会館で開催された内科系学会社会保険連合会第107回例会に参加した。2年後の診療報酬改定を目標に，結核診療の不採算性を少しでも改善するように入院主治医の技術料を計算したい。また，合同委員会草案のなかで迅速薬剤感受性試験として推奨する予定のジェノスカラー Rif-TBを普及させるため，保険点数が適切か検討する予定である。

5. 用語委員会(鈴木(栄)委員長)

①日本医学会医学用語辞典 英和(第3版)オンライン事典：日本医学会分科会会員に限り，無料閲覧可能のため，学会ホームページTop pageより利用できるようにした。②「新しい結核用語事典」の欧和の索引・巻末資料をホームページに載せ，購入を促している。

6. 教育委員会(長谷川委員長)

①「結核診療ガイドライン」に関する教育講演の開催を，来年度の各支部会開催に実施していただくよう，支部に働きかける。②「結核診療ガイドライン」の次の改訂に向けて，委員会を組織していく。③「結核症の基礎知識」の普及に関する提言を行う。

7. 予防委員会(長尾委員長)

平成22年9月14日 於 アルカディア市ヶ谷
 ①クオンティフェロン TB-GOLDについて使用現場から精度に関する若干の問題が指摘されたことを受け，同検査の使用指針策定については再考することとなった。②クオンティフェロン TBのみならず T SPOT-TBを含め，IGRA(Interferon-gamma Release Assay) 使用指針の策定を委員会内ワーキンググループで検討している。

8. 非結核性抗酸菌症対策委員会（鈴木（克）委員長）

①「肺非結核性抗酸菌症に対する外科治療の指針」「肺非結核性抗酸菌症化学療法に関する見解2008年暫定」は、暫定のため、MAC以外の記載がない。1998年の委員会報告を改訂し、暫定見解と合わせ、本格的な治療指針を作成する。次回の委員会で正式に公表する。②上記委員会報告を、呼吸器外科学会誌に掲載した。

9. 抗酸菌検査法検討委員会（富岡委員長）

①抗酸菌検査室の機能および精度保証活動に関する調査：検査室センターと病院の検査室を対象としたアンケートの回収を7月に実施した。結果を解析し、委員会を開催し今後の活動方針を決定する。②薬剤感受性外部精度評価を、抗酸菌施設を対象に実施している。今回はレボフロキサシンを追加して行う。

10. 将来計画委員会（森下委員長）

①法人化に向けて定款（案）の作成：現行の会則を基に、定款（案）を作成した。作成方針として、支部会の会計を統合するには、他学会の例を見ると3年余りの年月を要するため、当初は支部の規定を定款から外すこととした。現在は非会員が論文掲載のため1年限定で会員になっていただいている1年会員を「単年度会員」として定款に明文化する。また、賛助会員になるには本社の決済が必要となることが多いので、「単年度賛助会員」を設定し、営業所の判断だけで賛助会員になっていたように配慮した。一般社団法人法の規定による制限のある部分はこれに従って定款を作成した。現行の会則では理事の定数は支部会の正会員の1%とされており、変動することが見込まれるが、支部の文言を記載しない方針としたので、一応、現在の理事数30名を記載した。

②各種委員会の統合・効率化：教育委員会と用語委員会を統合する案を検討し、両委員長の承諾も得られたので、教育委員会と用語委員会を統合する方針とした。委員会の委員の選出は各支部の意見を反映させる必要がある委員会は支部推薦の委員と委員長推薦の委員とで構成し、必ずしも支部の意見を必要としない委員会や専門性の高い委員会は委員長推薦の委員だけで構成することとした。ただし、支部の推薦を必要と認める時は委員長が各支部長に依頼することとする。

③各支部から委員を選出すべき委員会：編集委員会、将来計画委員会、社会保険委員会、治療委員会、予防委員会、保健・看護委員会、ICD制度認定委員会、非結核性抗酸菌症対策委員会

④必ずしも各支部からの委員の選出を要しない委員会：国際交流委員会、教育・用語委員会、抗酸菌検査法検討委員会、ホームページ委員会

委員会の運営上、用語集、ガイドライン等の改訂などのプロジェクト的な業務を行う際には委員長の判断で

ワーキンググループを立ち上げて必要な人材を確保し、効率的に業務を遂行できるようにすべきである。

③認定医・指導医認定制度：来年の総会での生涯教育セミナーを受講することが認定医・指導医申請の必須条件であるので、このことを知らせる紹介文を「結核」誌に掲載する。生涯教育セミナーを受講する会員がかなり多数になると予想されるが、具体的にどのくらいか見当がつかない。十分な収容能力になるように生涯教育セミナーの会場を設定したい。

11. 保険・看護委員会（武内委員長）

結核認定看護師・保健師制度の導入を提案する。

12. 国際交流委員会（河野委員長欠席のため渡辺理事長代読）

2008年の在日外国人結核患者全国実態調査についてさらに解析を行った。治療途中で帰国してしまうケースについては都道府県・政令指定都市別に大きく割合が異なった。首都圏では比較的日本国内で治癒・治療完了する割合が高かったが、地方では治療途中で帰国してしまうケースの割合が高かった。2010年国際保健医療学会にて本問題について情報収集を行い、企業雇い主などへの結核についての啓発活動も必要であることを教示いただいた。調査結果は全保健所へフィードバックする。結核病学会雑誌に投稿予定。

13. ICD制度認定委員会（佐々木委員長）

(1) 2011年度日本呼吸器病学会との合同企画を決定した。

①膠原病アレルギー疾患における生物学的製剤使用例：徳田均氏（社会保険中央総合病院）、②腎不全・透析：藤田芳郎氏（中部労災病院リウマチ）、③HIV感染症：永井英明氏（国立病院機構東京病院）、④免疫抑制剤使用領域（移植・ステロイド投与例）：伊藤穰氏（京都大学医学部附属病院）、⑤QFT検査の展開：原田登之氏（結核予防会結核研究所）

(2) 第86回日本結核病学会ICD講習会について決定した。（本誌前付「総会予告」XV参照）

14. ホームページ委員会（小川委員長）

Top pageを全面的にリニューアルしスタートさせた。会員専用サイトは、論文ごとにPDF化、キーワード検索ができるようになった。結核誌は、Top pageからログイン可能とした。今後も改善していく。

II. 支部活動状況報告

北海道支部（清水支部長）

第60回 平成22年2月27日 本田泰人会長（NTT東札幌病院呼吸器科）、第61回 平成23年2月26日 古川隆志会長（JA北海道厚生連帯広厚生病院）、いずれも日本呼吸器学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会との合同開催。

東北支部（渡辺支部長）

第120回 平成22年3月6日 藤井俊司会長（山形県立中央病院呼吸器内科），第121回 平成22年9月14日 武田博明会長（済生会山形済生病院内科），第122回 平成23年3月5日 本田芳宏会長（フォレスト仙台），いずれも日本呼吸器学会との合同開催。

関東支部（長尾支部長）

第159回 平成23年2月19日 藤田明会長（多摩総合医療センター），第160回 平成23年9月 鈴木公典会長（ちば県民保健予防財団），第161回 平成24年2月 尾形英雄会長（複十字病院），第162回 平成24年9月 小倉高志会長（神奈川県立循環器呼吸器病センター），いずれも日本呼吸器学会と合同開催。

北陸支部（石崎支部長）

第76回 平成22年5月29・30日 佐久間勉会長（金沢医科大学呼吸器外科），第77回 平成22年11月6・7日 飴島慎吾会長（福井大学医学部第三内科），日本呼吸器学会・呼吸器内視鏡学会・サルコイドーシス学会と合同で開催。

東海支部（長谷川支部長）

第115回 平成22年6月26・27日 横井香平会長（名古屋大学呼吸器外科），第116回 平成22年11月13・14日 金田正徳会長（三重中央医療センター呼吸器外科），第117回 平成23年6月25・26日 佐藤滋樹会長（名古屋市立大学大学院医学研究科），第118回 平成23年10月29・30日 橋爪一光会長（県西部浜松医療センター呼吸器科），日本呼吸器学会と合同開催。

近畿支部（倉澤支部長）

夏の支部学会は結核病学会，冬は呼吸器学会が主催し，年2回開催している。第106回 平成22年12月11日一ノ瀬正和会長（和歌山県立医科大学内科），第107回 平成23年7月23日 鈴木克洋会長（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター内科），第108回 平成23年12月3日 平田一人会長（大阪市立大学大学院医学研究科），第109回 平成24年 一山智会長（京都大学大学院医学研究科）。

中国四国支部（富岡支部長）

第60回 平成22年2月6日 竹山博泰会長（国立病院機構松江医療センター），第61回 平成23年1月22日 森高智典会長（愛媛県立中央病院呼吸器科），日本呼吸器内視鏡学会と合同開催。第4回支部研究会を平成22年9月25日に岡山市で開催。

九州支部（中西支部長欠席により渡辺理事長代読）

第63回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部秋季学術講演会・合同評議員会において，九州支部会則を改正した。本部会則との整合性をとるため（役員の内任及び役職の解任）第7条「理事の内任は2年」とした。

第65回 平成22年11月12・13日 興梠博次会長（熊本

大学医学部附属病院），第66回 平成23年6月25日 吉永健会長（熊本中央病院），第67回 平成23年11月18・19日 渡辺憲太朗会長（福岡大学病院），日本呼吸器学会と合同開催。

Ⅲ. 第84回総会収支決算報告（倉澤前会長）

盛会裡に開催でき御礼を申し上げます。なお，約250万円は本部に返金申しあげた。

Ⅳ. 第86回総会準備状況（中島会長）

（本誌前付「総会予告」参照）

Ⅴ. その他

（1）第87回総会準備状況（重藤次期会長欠席のため渡辺理事長代読）

平成24年5月10・11日，広島国際会議場において開催する。

（2）厚生労働省・医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（渡辺理事長）

厚生労働省が開催している「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」の最近の部会で，候補リストに挙がった医薬品のうち，「公知申請での承認」に該当しそうなものとしてリファンピシンとエタンブトールも取り上げられ，NTM症への投与適応が承認されそうな動きとなっていることが担当企業から報告された。一方，レボフロキサシンのMDRTBへの適応は公知申請では難しく，臨床試験が必要ということで，その体制が作られつつある。

議案**第1号議案** 理事の選挙について（鈴木常務理事）

現在の理事の内任は，平成23年6月3日，第86回総会で終了する。来年は，理事選挙を実施する。理事の内定数は，会則第11条により，各支部の正会員数の1%とし，1名のみは2名とする。選挙管理委員の内任については，「役員選挙施行細則」第5条により，選挙管理委員は1所属，1名とする。各支部からの委員推薦数は，委員会合併等のため，選挙までに支部長へ連絡する。

第2号議案 定年制に関わる評議員の補充について（鈴木常務理事）

65歳定年制の評議員について，各支部長へ報告する。評議員の欠員については，「役員選挙施行細則」第17条により，支部の推薦により理事会の議を経て，補充することができる。

第3号議案 委員の推薦について（渡辺理事長）**第87回総会プログラム委員**（敬称略）

支部推薦（5支部）：北海道 鎌田有珠（国立病院機構北海道医療センター），関東 藤田 明（東京都立多摩総合医療センター），北陸 佐藤和弘（長岡赤十字病院），近畿 佐藤敦夫（国立病院機構南京都病院），中国

四国 佐野千晶（島根大学医学部）

会長推薦（5名）：猪狩英俊（千葉大学医学部附属病院），永井英明（国立病院機構東京病院），成田友代（福祉保健局健康安全部），小川賢二（国立病院機構東名古屋病院），村上 功（国立病院機構東広島医療センター）
編集委員会（敬称略）

委員長推薦委員：岩井和郎（結核予防会結核研究所），志村昭光（結核予防会千葉県支部），永井英明（国立病院機構東京病院）

第4号議案 その他

以上で理事会は終了。

日本結核病学会役員および委員名簿

(平成22年10月7日)
(五十音順 敬称略)

役 員

理事長 渡辺 彰 会長 中島 由槻
 常務理事 (総務) 鈴木 公典 (編集) 山岸 文雄 (将来計画) 森下 宗彦

理事 (30名) 任期:平成23年6月3日

北海道支部 (2) 鎌田 有珠 藤兼 俊明
 東北支部 (2) 武内 健一 渡辺 彰
 関東支部 (10) 藤田 明 尾形 英雄 佐々木結花 鈴木 公典 巽 浩一郎
 長尾 啓一 中島 由槻 橋本 修 馬島 徹 山岸 文雄
 北陸支部 (2) 鈴木 栄一 榎 博久
 東海支部 (3) 小川 賢二 長谷川好規 森下 宗彦
 近畿支部 (5) 網谷 良一 一山 智 倉澤 卓也 鈴木 克洋 田中 栄作
 中国四国支部 (2) 重藤えり子 富岡 治明
 九州支部 (4) 相沢 久道 河野 茂 菅 守隆 中西 洋一

監事 (2名) 任期:平成23年6月3日

阿彦 忠之 西村 一孝

評議員 (193名) 任期:平成25年4月30日

北海道支部 (8)
 秋山也寸史 大崎 能伸 鎌田 有珠 清水 哲雄 高橋 弘毅 西村 正治 藤兼 俊明
 三觜 雄
 東北支部 (9)
 阿彦 忠之 賀来 満夫 塩谷 隆信 高梨 信吾 武内 健一 新妻 一直 貫和 敏博
 棟方 充 渡辺 彰
 関東支部 (67+1)
 赤川 清子 赤川志のぶ 赤柴 恒人 足立 満 猪狩 英俊 石井 芳樹 市岡 正彦
 伊藤 邦彦 稲瀬 直彦 内山 寛子 大森 一光 大森 正子 尾形 英雄 奥村 昌夫
 小倉 高志 小野崎郁史 折津 愈 加藤 誠也 金澤 實 川名 明彦 川辺 芳子
 菊池 功次 菊池 典雄 工藤宏一郎 久保 惠嗣 黒田 文伸 慶長 直人 小林 典子
 斎藤 武文 佐々木結花 下内 昭 須金 紀雄 杉山幸比古 鈴木 公典 高崎 仁
 高橋 典明 滝口 裕一 巽 浩一郎 田中 健彦 田辺 信宏 田村 厚久 蝶名林直彦
 徳田 均 戸島 洋一 豊田恵美子 永井 英明 長尾 啓一 中島 由槻 二木 芳人
 橋本 修 長谷川直樹 原田 登之 福田 健 藤田 明 蛇沢 晶 放生 雅章
 星野 齐之 細川 芳文 本間 栄 馬島 徹 益田 公彦 増山 英則 御手洗 聡
 八木 毅典 山岸 文雄 山口 哲生 吉山 崇 和田 雅子
 北陸支部 (8)
 石崎 武志 泉 三郎 佐藤 和弘 鈴木 栄一 榎 博久 中積 泰人 長谷 光雄
 藤村 政樹
 東海支部 (24)
 五十里 明 小川 賢二 近藤 康博 酒井 秀造 佐藤 滋樹 白井 敏博 白井 正浩
 進藤 丈 鈴木 雅之 高木 健三 田口 修 谷口 博之 田野 正夫 千田 金吾
 新美 岳 丹羽 宏 長谷川好規 馬場 研二 早川 啓史 藤岡 正信 森下 宗彦
 安田 和雅 山本 雅史 吉川 公章
 近畿支部 (34)
 網谷 良一 石原 享介 一山 智 岩崎 博信 岡田 全司 木村 弘 倉澤 卓也
 坂本 廣子 佐藤 敦夫 鈴木 克洋 鈴木雄二郎 高倉 俊二 高嶋 哲也 高鳥毛敏雄
 高松 勇 田口 善夫 多田 公英 田中 栄作 田村 猛夏 陳 和夫 露口 一成
 富岡 洋海 中野 孝司 中原 保治 新実 彰男 藤山 理世 前倉 亮治 松村 理司
 松本 智成 松本 久子 光山 正雄 撫井 賀代 望月 吉郎 安場 広高

中国四国支部 (16)

有田 健一 磯部 威 江田 良輔 大串 文隆 沖本 二郎 倉岡 敏彦 小橋 吉博
 重藤えり子 高橋 清 竹山 博泰 多田 敦彦 多田 慎也 富岡 治明 西井 研治
 西村 一孝 矢野 修一

九州支部 (26)

相沢 久道 井上 博雅 井上 祐一 岩永 知秋 加治木 章 門田 淳一 北原 義也
 久場 睦夫 河野 茂 古賀 宏延 菅 守隆 杉崎 勝教 杉本 峯晴 岳中 耐夫
 田代 隆良 健山 正男 道津 安正 中西 洋一 林 真一郎 廣瀬 宣之 福島喜代康
 藤田 次郎 迎 寛 柳原 克紀 力丸 徹 渡辺憲太郎

各種委員会委員

任期：平成23年6月3日 *平成24年5月11日

	編集委員	学会賞 選考委員	治療委員	社会保険 委員	用語委員	教育委員	予防委員	非結核性抗酸 菌症対策委員
委員長	山岸文雄	第86回会長 中島 由槻 理事長 渡辺 彰	重藤えり子	尾形 英雄	鈴木 栄一	長谷川好規	長尾 啓一	鈴木 克洋
北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 委員長推薦	高橋 弘毅 佐藤 研 福田 健 大森 正子 石崎 武志 吉川 公章 岡田 全司 阿部 聖裕 岩永 知秋 金澤 實 菊池 功次 下内 昭 森 亨 山崎 利雄 岩井 和郎 志村 昭光 永井 英明	西村 正治* 武田 博明 下内 昭* 高瀬恵一郎* 八木 哲也* 光山 正雄 大串 文隆* 菅 守隆	藤兼 俊明 藤井 俊司 吉山 崇 斎藤 武文 佐藤 和弘 田野 正夫 露口 一成 小橋 吉博 藤田 次郎	鎌田 有珠 武田 博明 折津 愈 永井 英明 梅 博久 近藤 康博 望月 吉郎 高橋 清 力丸 徹 飛世 克之	木村 清延 川上 和義 橋本 修 徳田 均 長谷 光雄 早川 啓史 佐藤 敦夫 倉岡 敏彦 相沢 久道	大崎 能伸 棟方 充 巽 浩一郎 和田 雅子 藤村 政樹 千田 金吾 田中 栄作 矢野 修一 田代 隆良	本田 泰人 高梨 信吾 猪狩 英俊 加藤 誠也 辻 博 五十里 明 徳永 修 沖本 二郎 渡辺憲太郎	山田 玄 菊地 利明 長谷川直樹 馬島 徹 桑原 克弘 白井 正浩 伊藤 穰 多田 敦彦 加治木 章 倉島 篤行

	抗酸菌検査法 検討委員	将来計画 委員	保健・看護 委員	国際交流 委員	ホームペ ージ委員	ICD制度 認定委員	第86回プロ グラム委員	第87回プロ グラム委員
委員長	富岡 治明	森下 宗彦	武内 健一	河野 茂	小川 賢二	佐々木結花	会長 中島 由槻	次期会長 重藤えり子
北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 委員長推薦	藤内 智 塩谷 隆信 御手洗 聡 二木 芳人 桶谷 典弘 中川 拓 樋口 武史 西井 研治 健山 正男 阿部千代治 小栗 豊子 斎藤 肇	清水 哲雄 貫和 敏博 藤田 明 杉山幸比古 大平 徹郎 佐藤 滋樹 高鳥毛敏雄 有田 健一 中西 洋一	三髯 雄 賀来 満夫 小林 典子 成田 友代 泉 三郎 藤岡 正信 樋野 和美 磯部 威 福島喜代康	田中 裕士 服部 俊夫 伊藤 邦彦 工藤宏一郎 中積 泰人 田口 修 網谷 良一 竹山 博泰 門田 淳一 小野崎郁史	秋山也寸史 三木 誠 星野 齐之 原田 登之 高瀬恵一郎 新美 岳 富岡 洋海 清水 利朗 迎 寛	網島 優 新妻 一直 小倉 高志 西 耕一 八木 哲也 高倉 俊二 江田 良輔 山本 善裕	— 三木 誠 大森 一光 — 田口 修 飯沼 由嗣 — 山本 善裕 赤川 清子 斎藤 武文 下内 昭 小林 典子 豊田恵美子	鎌田 有珠* — 藤田 明* — 佐藤 和弘* — 佐藤 敦夫* 佐野 千晶* — 猪狩 英俊* 小川 賢二* 永井 英明* 成田 友代* 村上 功

— 副委員長

日本結核病学会名誉会員，功勞会員名簿

名譽会員 (32名)

(平成22年10月7日
称号授与年・五十音順 敬称略)

平成1：重松 逸造
 平成4：今野 淳
 平成7：梅田 博道， 島尾 忠男
 平成9：螺良 英郎， 芳賀 敏彦， 山本 健一
 平成11：青木 國雄， 池田 宣昭， 岩井 和郎， 大島 駿作， 亀田 和彦， 久世 文幸，
 齋藤 肇， 篠田 厚， 原 耕平， 福士 主計， 本宮 雅吉
 平成15：志村 昭光
 平成18：東 市郎
 平成20：松島 敏春
 平成22：齋藤 厚， 那須 勝

平成3：岩 喬， 岡安 大仁， 前川 暢夫
 平成6：山本 恵一
 平成8：橋本達一郎
 平成17：石崎 驍， 小山 明
 平成19：荒井他嘉司
 平成21：露口 泉夫

功勞会員 (77名)

(平成22年10月7日
五十音順 敬称略)

浅川 三男	阿部 庄作	阿部千代治	荒川 正昭	安藤 正幸	池田 東吾	石川 信克
泉 孝英	井上圭太郎	今村 昌耕	上田 暢男	大泉耕太郎	大城 盛夫	大谷 信夫
岡田 慶夫	小倉 剛	小栗 豊子	折津 愈	柏木 秀雄	片山 透	萱場 圭一
河合 健	川城 丈夫	川村 達	岸 不盡彌	来生 哲	喜多 舒彦	北村 論
城戸 優光	工藤 翔二	倉島 篤行	栗山 喬之	小林 宏行	小松彦太郎	坂谷 光則
佐藤 篤彦	佐藤 博	志摩 清	下出 久雄	下方 薫	杉浦 孝彦	杉田 博宣
鈴木 光	鈴木 清繁	高瀬 昭	高本 正祇	瀧澤 弘隆	立花 暉夫	田中 元一
谷 淳吉	谷本 晋一	津田 富康	土屋 俊晶	戸井田一郎	徳永 徹	飛世 克之
中井 準	長尾 光修	中富 昌夫	中西 敬	長谷川鎮雄	日置辰一郎	藤野 忠彦
堀江 孝至	町田 和子	松宮 恒夫	宮下 脩	三輪 太郎	森 亨	森岡 茂治
矢次 正東	山口 智道	山村 好弘	吉田 清一	吉田 文香	吉田 稔	四元 秀毅

日本結核病学会支部長一覧

(平成22年10月1日)

北海道支部	清水 哲雄	北海道社会保険病院 〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8-3-18 【事務局】 〒060-0808 札幌市北区北8条西3札幌エルプラザビル5階 結核予防会北海道支部内	TEL: 011-831-5151 TEL: 011-700-1331	FAX: 011-821-3851 FAX: 011-700-1330
東北支部	渡辺 彰	東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1	TEL: 022-717-8540	FAX: 022-717-8540
関東支部	長尾 啓一	千葉大学総合安全衛生管理機構 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 【事務局】 〒113-0033 東京都文京区本郷4-8-9	TEL: 043-290-2210 TEL: 03-3868-2401	FAX: 043-290-2211 FAX: 03-3868-2406
北陸支部	石崎 武志	福井大学医学部看護学科 〒910-1104 福井県吉田郡松岡町下合月23-1	TEL: 0776-61-8548	FAX: 0776-61-8145
東海支部	長谷川好規	名古屋大学大学院医学系研究科 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65	TEL: 052-744-1918	FAX: 052-744-2176
近畿支部	倉澤 卓也	国立病院機構南京都病院 〒610-0113 京都府城陽市中芦原11	TEL: 0774-52-0065	FAX: 0774-55-2765
中国四国支部	富岡 治明	島根大学医学部微生物・免疫学教室 〒693-8501 出雲市塩冶町89-1	TEL: 0853-20-2146	FAX: 0853-20-2145
九州支部	中西 洋一	九州大学大学院医学研究院 臨床医学部門内科学講座呼吸器内科学分野 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	TEL: 092-642-5376	FAX: 092-642-5389